

新作狂言「茨木童子 2016」の開催を祝う 185 人の「お練り」は迫力満点

所員 豊島 眞介
(基盤教育機構教授)

茨木市のメインキャラクターである茨木童子を取り上げた新作狂言「茨木童子 2016」公演が開催される前日、2016 年 10 月 22 日（土）に「お練り」が実施されました。公演の PR をするだけでなく、追手門学院が地域と連携して新しい茨木市のお祭りを作り上げようという狙いで開催。鬼の扮装をした親子連れら計 185 人の隊列が中央公園から茨木阪急本通商店街などを約 1.5 キロ練り歩き、商店街では地元の商店主らと一行の掛け合いも行われて人気を呼びました。

新作狂言「茨木童子」は追手門学院大学と狂言大蔵流茂山千五郎家、(公財)茨木市文化振興財団が練り上げて 2013 年、2014 年と茨木市の真宗大谷派茨木別院で公演。2015 年は茨木童子が京都に還る凱旋狂言会と銘打って、京都市上京区の金剛能楽堂で開催。2016 年度は長く愛される古典になることを目指して台本を改訂して茨木クリエイトセンターで公演が行われ、茂山千三郎さんらが出演しました。

その新作狂言を PR する 2016 年のお練りは茨木市に新しいにぎわいづくりをと願って行われました。10 月 22 日午後 1 時、鬼の扮装をした親子連れに追手門学院大学生、追手門学院中・高等学校表現コミュニケーションコースの生徒たちが加わったお練りの隊列は「鬼のはなしを聞こうぞよ」と口々に歌いながら中央公園を出発。茂山千三郎さんが羽織はかま姿で先頭に立ち、「黒井清水の大茶会」が開かれている茨木神社でご挨拶。茨木阪急本通商店街では初めての試みとして 9 カ所の商店と商店の本日のお勧め商品と値段をやりとりする「掛け合い」を行いました。千三郎さんが「本日のおすすめは何ですかあ」と呼びかけると、隊列も大声で唱和して商店街に響き渡り、買い物客も隊列に大きな拍手をおくりました。

お練りの隊列は午後 2 時過ぎ、中央公園に帰着。ここから阪急本通商店街で運営しているダンススクール「BOOM」の子どもたちと、追手門学院中・高等学校表現コミュニケーションコースの生徒がダンスパフォーマンス。最後に素晴らしい仮装をしたグループを表彰して「お練り」を締めくくりました。